

**表彰** 市長賞メダル贈呈式

市長賞メダル贈呈式がKOBELCO 真岡いちごホール小ホールで行われ、スポーツや文化・芸術などの分野で特に優れた成績を収めた33人の方々が受賞しました。(敬称略)

- 第56回栃木県アンサンブルコンテスト 管楽八重奏 金賞 真岡小5年・見目奏音
- 第44回全日本バレーボール小学生大会栃木県大会 男子の部 優勝 真岡東小4年・増淵煌芽
- 第17回北総警杯少年柔道学年別・体重別選手権大会 小学6年生男子の部 50kg 超級 優勝 真岡西小6年・大嶋将央
- 令和6年度人権教育・啓発推進県民運動 人権に関する作文 最優秀賞 山前小6年・木村吾孟
- 令和6年度こどもの人権絵画コンテスト 最優秀賞 物部小4年・浅川花
- 第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア栃木県大会 創造アイデアロボットコンテスト 基礎部門 県教育長賞 長沼中2年・横山慶丞、増淵楓馬、海老原充
- 第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア栃木県大会 創造アイデアロボットコンテスト 制御部門 県教育長賞 長沼中3年・宮田茉奈、柴琴実、渡邊陽由
- 第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア栃木県大会 創造アイデアロボットコンテスト 制御部門 優勝 長沼中2年・村田梓紗、倉持若奈



- 第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア栃木県大会 創造アイデアロボットコンテスト 応用部門 県教育長賞 長沼中3年・佐藤健哉、亀田翔慎、野澤悠真、大森史也、亀田倅之祐、本橋遼樹
- 令和6年度人権教育・啓発推進県民運動 人権に関するイラスト 最優秀賞 物部中2年・木島茉央
- 第31回全日本空手道連盟系東会 栃木県選手権大会 中学生1年女子 組手の部 優勝 久下田中1年・柳田葵友
- 第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」卓球 第1位 真岡工業高校1年・石川朝聖
- 令和6年度栃木県民スポーツ大会 バドミントン 市対抗の部 優勝 三浦凜太郎、亀卦川彩奈、早迫瞭、武田沙織、青木怜奈
- 令和6年度栃木県民スポーツ大会 サッカー 市対抗の部 優勝 小田哲男、松山竜翔、中三川大珠
- 第36回栃木県ゴルフ連盟支部対抗ゴルフ大会 女子の部 グロスの部 優勝 藤平暉、鈴木有紀江、柳瀬栄子

**表彰** 中村中学校の生徒10人へ感謝状を贈呈 バケツリレーで延焼防ぐ

昨年12月24日の夕方に発生した下大沼地内での枯れ草火災において、バケツリレーで消火活動を行い火災の鎮圧に貢献した中村中学校の生徒10人へ感謝状が贈られました。石坂市長からは「危険を顧みず、速やかな初期消火で、大規模火災を防ぐことができました」と勇気ある行動をたたえとともに感謝の言葉が伝えられました。



後列左から、椿拓也さん、熊坂栄桜さん、中田彩月さん、植木龍牙さん、河又和志さん、石井煌麟さん、前列左から、塚田結心さん、中島遙太さん、新美空さん、大根田拓暉さん

**表彰** 魅力的な景観の形成に寄与 第5回 真岡市建築・景観賞

真岡市建築・景観賞は、まちづくりに対する意識の高揚を図ることを目的に、優れた景観をつくりだしている建築物や地域の景観などを守り育てている活動を表彰するものです。この度、まちなみ景観部門（一般）に3件、まちなみ景観部門（公共）に2件、景観づくり活動部門に3団体が受賞しました。



受賞内容は市HP参照 ID 23232



左から、大内中学校 上野光男校長、中三川珠莉さん、西田鉄平さん、田口結羽里さん、佐藤遙乃さん、環境美化協会 阿久津豊さん

**表彰** 地域の自然環境を大切に（大内中学校） 環境美化教育優良校表彰

地域と連携して環境美化に取り組む小中学校を表彰する“環境美化教育優良校等表彰（公益社団法人食品容器環境美化協会主催）”において、大内中学校の1年生が昨年6月に行った、学校東側を流れる五行川沿いの清掃活動が評価され、優良校協会会長賞に選ばれました。



**表彰** 令和6年度 真岡市スポーツ協会 優秀選手等表彰式

真岡市スポーツ協会では、各種スポーツ大会で優秀な成績を収めた方や長年スポーツ団体の役員・指導者として尽力した方を表彰しています。令和6年度は、体育功労賞6人、優秀指導者賞1人、スポーツ優秀選手賞142人が表彰され、本協会の渡邊会長から式出席者へ表彰状と副賞のメダル等が手渡されました。



詳細は市HP参照 ID 24505

**式典** 緑の募金で学校環境の緑化を推進(大内東小学校) 学校環境緑化モデル事業

公益社団法人国土緑化推進機構による学校環境緑化モデル事業として実施した、大内東小学校の学校林の間伐や枝のせん定等の整備が完了し、完成記念式典と植樹式が行われました。この事業は、ローソン緑の募金を活用したもので、代表児童から、緑化事業へのお礼の言葉が伝えられました。



**宣言式** ワークライフバランスを積極的に推進 真岡イクボス合同宣言式

共に働く人たちが仕事と私生活を両立させ、楽しく充実した人生を送れる社会を実現するため、市内18企業の代表者、石坂市長、嶋田副市長が合同で“真岡イクボス合同宣言”を行いました。式後は、多様な働き方や魅力ある職場づくりなどをテーマに、講演が行われました。



樹日本キャップ解決研究所 兼 NPO 法人ファザリング・ジャパン 副代表 塚越 学 氏